

よく、出てきたタケノコをポキポキ折ってる人いるけど、あれやると、最後にちっちゃなタケが残って竹林の奥の見通しが効かない。縁部のタケは下の節から枝葉が出てるけど奥のタケはうんと上の節からしか枝葉がでない。だから、タケが成長し終わったところに縁部のタケを切ればうんと見通しが良くなるって訳。

### 途中でやめても大丈夫

よーし、全部きれいにするぞってやり始めても、やってみて以外ときつのが放置竹林のタケ切り。頭上でフジやらツルウメモドキのツルがからんで切っても倒れてくれなかったり。

切りはじめは必ず家や田畑に近い側から取り掛かる。そうすれば切った分だけコワゴワゾーンになるから途中でやめても、動物的には家や畑に出てきにくい。

まずは縁部に生えてる低灌木から切る。

それだけで竹林のかなり奥まで見通せるでしょ。

イノシシもアナグマもタヌキも「ここはヤバイ、みつか

りそー」ってところは避けるようになるからね。

### 混むと外へ出たがるタケ

タケって竹林の中が混みあって新しいタケノコ伸びるすき間もないって感じになると外へ出てどんどん走り始める。だから、竹林はここまですべて後退させたいって時は後退させたいラインまでは皆伐。

大切なのはそのラインから内側をできる範囲でいいから図のように間伐する。そうすると外へ外へ出ようという力が弱まる。

タケって雨風の時でもサラサラと葉が落ちるだけだから、竹林の中って電柵使えるんだ。だから、間伐したところだけ電柵で囲えばすっごくいいタケノコが早くから収穫できるよ。

間伐の目安はモウソウで10アール250〜400本。竹林の中を傘をさしたまま楽に歩ける程度だよ。

### 道具と危険防止の話

竹林の作業やる前に是非知っておいてね。笹藪刈りや竹林作業は道具一つで効率が

100倍くらい違ってくる(ちよっと大げさ)

笹藪刈りはアサリの付いた刃が交互についている山林用(または下刈り用)のチップソーを使う。10センチくらいのマダケまで切れちゃうから。アツ、ノコギリも必ず竹専用鋸。切れ味が全然違うし、刃がすべらないからケガも防げる。

モウソウ林でチェーンソー使うときもできれば竹用の刃に付け替えよう。

そうそう、ケガ防止のためにこれだけは覚えておいて。ノコギリもチェーンソーも必ず刃先を下げて切る。でないと切り終わった竹が足先直撃なんてケガすっからね。



次回は牧草の話だよ~

7月18日(木)、13:30から野方地区活性化センターで鳥獣対策研修会を開催するよ~! 誰でも参加できるから、ぜひ来てね~



### 講師紹介 井上 雅央氏

1949年、奈良県出身。愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。元農研機構 近畿中国四国農業研究センター 鳥獣害研究チーム長。退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動。著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダニ』『女性が必要です』など多数。

